

平成21年度 上田市役所(上田地域自治センター)
ISO14001に基づくEMSに関わる第三者監査
報 告 書

平成22年3月31日

上田市役所第三者監査チーム

上田市役所（上田地域自治センター）の ISO14001 に基づく E M S について、平成 22 年 2 月 24 日及び 25 日に実施した環境監査の結果を、以下のとおり、ご報告申し上げます。

	項目	内容
1	被監査対象組織	長野県上田市役所上田地域自治センター 長野県上田市大手 1-11-16 被監査者代表者名：上田市長 母袋創一 環境管理責任者：市民生活部長 山本謙二
2	監査者	監査チームリーダー：宮原英朋 監査チームメンバー：山崎敦之、香遠英俊
3	目的	ISO14001 に基づく環境マネジメントシステム（以下「E M S」という）の維持状況を評価し、ISO14001 の自己適合宣言に相応しいものかどうかを判定する。
4	適用範囲	上田市役所の上田地域自治センター内における施設のうち、適用範囲としている施設
5	適用規格	J I S Q 14001：2004（I S O 14001：2004）
6	適用文書	上田市環境マネジメントシステムマニュアル（2008.4）
7	実施日程	平成 21 年 2 月 24 日（水）～ 2 月 25 日（木）
8	実施計画	・監査の実施計画に示すとおり
9	監査結果	監査の結論、監査総括所見、部門別監査所見等に示すとおり
	付記事項	

監査内容に関する確認

依頼者

監査者

上田市長

監査責任者

母袋 創一

宮原 英朋

平成 22 年 3 月 31 日

平成 22 年 3 月 31 日

・ 監査の結論

監査チームは「上田市役所の上田地域自治センターに所属する施設のうち、管理運営業務を委託している施設並びに保育園、小中学校を除く、全ての庁舎並びに施設等で実施される事務・事業」を対象範囲とする ISO14001：2004 に基づく環境マネジメントシステム（自己適合宣言）について監査を行いました結果、監査対象範囲における環境マネジメントシステムは適切に確立、実施、維持されていることを確認しました。

なお、監査結果についての総括を「 監査総括所見」、各部署別の監査結果を「 部門別の監査所見等」として示しました。部門監査報告書に示した改善提案事項、指摘事項等については、検討と是正を図られ、今後の環境マネジメントシステムの継続的改善につなげて頂くことを期待いたします。

・ 監査総括所見

1 自己適合宣言の有効性について

上田市の自己適合宣言以来、今回で6回に渡り市の環境保全の取り組みについて監査を実施してまいりました。今回は、環境管理責任者から現状の課題と今後の取組、環境施策等について直接ヒヤリングする機会が得られたことは、実効性のある監査を進める上で、大変有効でした。その中で環境管理責任者が示された課題として、街作りやビジョン達成に向け、各部局で本来業務に結び付けた目標設定がされ、取り組まれているかを主眼に監査を実施させて頂きました。職員の環境意識は年を増す毎に向上していることが伺え、その表れとして各部局課等において本来業務に結び付けた環境目標の設定とその取組みが概ね浸透しつつあることが確認できました。総合的に判断して、上田市環境マネジメントシステムは有効に機能していると考えます。

2 前年度の指摘事項・改善事項への対処

今回監査対象となった部局課等の前回指摘事項、改善事項については、一部に不備が見られたものの、全体では対処策が決定・実施されており、是正処置の仕組みが有効に機能し、システムの向上に活かされていることを確認しました。

3 合併後の自己適合宣言適用範囲拡大について

今回の第三者監査では、上田地域と丸子地域における環境マネジメントシステムについて外部監査を実施致しましたが、既に真田、武石地域も包含した範囲での「自己適合宣言」に移行しており、段階的にレベルの向上を図るため、教育訓練や内部監査等も実施され、全市統一に向けシステムの向上を図られていることは評価できるものでした。今後も更に活動を推進され、全市としての温度差を無くしていくことが望まれます。内部監査はもとより、外部監査も有効に活用されることが必要です。次回は、全市としての取組促進のため、真田、武石地域に対する外部監査を計画頂くことが望まれます。

4 本来業務に係わる環境配慮活動の展開・浸透について

今回の監査対象の部局課等では、一部を除き、本来業務に結び付けた環境目標を設定し活動されており、浸透しつつあることが伺えました。今後も、狭い意味の「環境」だけにとらわれず、自治体としての影響力を発揮し、啓発活動、サービスや利便性の向上等（有益な環境側面）を環境目標に積極的に結びつけ、PDCA サイクルを回して頂きたいと考えます。なお、一部の部局課では未だに「エコオフィス活動」のみの目標であることは残念でした。教育訓練や内部環境監査を通じて更なる理解促進を図られることが望まれます。

5 環境方針及びマネジメントレビューについて

環境基本方針に基づき、各種の施策が具体化している点は評価できるものですが、残念なことに環境マネジメントシステムと融合していない点について改善の余地があります。具体的には、環境方針が平成 18 年制定以来、変更されていないことは大きな問題と考えます。この間、合併新市全域への環境マネジメントの展開、バイオマス構想、新エネルギービジョン策定等々の動きがありますが、方針は変更されておりません。このことは、マネジメントレビューの仕組みに問題があると考えられます。環境方針は、理念ではなく、進むべき方向を指し示すものであり、より具体化されることが望ましいと考えます。全市への環境マネジメントシステムの展開、新エネルギービジョンの具体的目標値、本来業務における取組促進、その他施策を盛り込み、より具体化することで、具体的な PDCA サイクルを回し、実現に近づけることが出来るものと考えます。行政としての各種施策、ビジョンは法的規制や社会情勢等を踏まえて策定されているはずですので、これらをインプットし、方針変更の必要性を検討することで、より戦略的な環境施策への展開が図れるものと考えます。

6 内部環境監査について

内部監査において、指摘事項が無いという結果については、監査の実効性の観点から、問題視すべき事項であると考えます。内部監査は自浄作用・仕組みの改善を目的に実施すべきで、仲間内であっても積極的に指摘し、改善に結びつけることが必要です。内部監査における監査員の力量、監査の視点、指摘すべき基準等について再度検証されることが望まれます。

7 今回の監査の良かった点

- (1) 環境管理責任者より直接環境の各種施策、課題、今後の取組等についての考え方をお聞き出来た点は大変有効でした。本来、システムの実務責任者として必要な対応と考えますので、今後とも継続をお願い致します。
- (2) 監査後、監査対象部署責任者の方に結果報告とコミュニケーションを取る機会が得られた点は良かったと思います。今後とも継続をお願い致します。

・部門別の監査所見等

様式2:部門監査報告書

被監査部門名	環境管理責任者
被監査者	山本市民生活部長(環境管理責任者)・宮澤課長(副環境管理責任者)
監査日時	2010年 2月24日(水) 10:00~12:00
監査員	□監査リーダー:宮原 英朋 □監査メンバー:香遠 英俊 山崎 敦之 □オブザーバー 5名
前回監査・審査等での指摘事項への対処状況	

総括所見		今回の監査では、環境管理責任者から市長の考えに基づく、市としての環境施策・取組の方向性、考え方についてお聞きすることが出来ました。環境基本計画で示される「環境未来都市」、「自然環境共生都市」の実現を目指し、各種施策・ビジョンを持って積極的に取組む姿勢が感じ取れました。 また、上田市は誰もが住んで良かったと言える「生活快適都市」を目指し、未来を担う子供たちについても「子育てするなら上田市で」を宣言していること、上田市環境マネジメントシステムも平成21年度統合全市に統一拡大したことを契機に、エコオフィスだけでなく、街づくり、ビジョン実現のために、環境マネジメントを有効活用したいとの考えが示されました。取組の考え方、EMSの活用、各種ビジョン等、積極的に進める意向が示されたことは評価できるものです。今後とも「環境未来都市」、「自然環境共生都市」の実現に向け、行政機関としての役割を如何なく発揮され、推進されますことを期待致します。
1	特筆事項 (優良事項等)	上田市の環境マネジメントシステムが全市に統合拡大されました。 新エネルギービジョン等も策定され、具体的目標が示されている。
2	職員の環境 配慮意識	(前年度比) □向上 【事実の整理と所見】 総括所見欄参照
3	環境活動内容 の適切性	(前年度比) □適切な取組内容 ■ほぼ適切な取組内容 □不適切な内容 【事実の整理と所見】 総括所見欄参照
4	環境活動結果 の妥当性	(活動内容比) □計画どおり実施 □ほぼ計画どおり実施 □未実施が多い 【事実の整理と所見】 総括所見欄参照
5	環境活動全般 の有効性	(前年度比) □有効性が高い □ほぼ有効 □有効性は低い 【事実の整理と所見】 総括所見欄参照

改善提案・意見等

環境基本方針に基づき、各種の施策が具体化している点は評価できるものですが、残念なことに環境マネジメントシステムと融合していない点について改善の余地があります。具体的には、環境方針が平成18年制定以来、変更されていないことは大きな問題と考えます。この間、合併新市全域への環境マネジメントの展開、バイオマス構想、新エネルギービジョン策定等々の動きがありますが、方針は変更されておりません。このことは、マネジメントレビューの仕組みに問題があると考えられます。環境方針は、理念ではなく、進むべき方向を指し示すものであり、より具体化されることが望ましいと考えます。全市への環境マネジメントの展開、新エネルギーの具体的な目標値、本来業務における取組促進、その他施策を盛り込み、より具体化することで、具体的なPDCAサイクルを回し、実現に近づけることが出来るものと考えます。（レビュー資料を拝見しますと、環境マネジメント全市展開、地球温暖化問題、自然共生都市、本来業務に関する取組推進等を図ることとされていますが、方針に反映されておりません）行政としての各種施策、ビジョンは法的規制や社会情勢等を踏まえて策定されているはずですので、これらをインプットし、方針変更の必要性を検討することで、より戦略的な環境施策への展開が図れるものと考えます。

個別指摘事項等

No	評価	指摘事項	規格要求事項
○-01	☐ 推奨 ☒ 改善 ☐ 指摘	環境方針について 現在の環境方針は、平成18年5月16日に制定されたものです。その3年以上の間に環境基本計画の策定、環境マネジメントシステムの全市統一拡大、新エネルギー等の各種施策・ビジョンが策定されておりますが、方針は改訂されておりません。マネジメントレビューにより変更の必要はないとされておりますが、レビューへのインプット情報も不十分と推測されます。方針は理念ではありません。より効果を上げるためにも方針は具体化することで、戦略的に環境施策への展開を図ることが望まれます。	
○-02	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○-03	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○-04	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○-05	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○-06	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○-07	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		

様式2:部門監査報告書

被監査部門名	ISO 事務局
被監査者	宮沢課長 倉島係長・西沢主任
監査日時	2010 年 2 月 24 日(水) 10:00～12:00
監査員	□ 監査リーダー:宮原 英朋 □ 監査メンバー:香遠 英俊 山崎 敦之 □ オブザーバー 5 名
前回監査・審査等での指摘事項への対処状況	

総括所見		平成21年度、上田市環境マネジメントシステムが全市に統一拡大致しました。これは事務局が原動力となり進められた成果として評価に値します。今後、全市 1600 名程の職員を巻き込み、日常の業務として活動の成果をさらに上げていくのは大変なことではありますが、少しずつ、実のある活動を積み重ねることが大切です。今後の取組に期待致します。
1	特筆事項 (優良事項等)	上田市の環境マネジメントシステムの全市統合拡大の原動力となった。
2	職員の環境 配慮意識	(前年度比) □ 向上 【事実の整理と所見】
3	環境活動内容 の適切性	(前年度比) □ 適切な取組内容 ■ ほぼ適切な取組内容 □ 不適切な内容 【事実の整理と所見】 最新の内部監査結果を拝見しましたが、指摘事項の事例が確認できませんでした。マネジメントレビューでも本来業務での目標設定・取組促進を図ることとされておりましたが、エコオフィス活動のみの部門があるにも関わらず、指摘されていない事例が散見されました。
4	環境活動結果 の妥当性	(活動内容比) □ 計画どおり実施 □ ほぼ計画どおり実施 □ 未実施が多い 【事実の整理と所見】
5	環境活動全般 の有効性	(前年度比) □ 有効性が高い □ ほぼ有効 □ 有効性は低い 【事実の整理と所見】 外部監査では本来業務を通じた取組を主体に監査しておりますが、内部監査ではその観点での監査としては改善の余地があると考えられます。但し、全市への展開を図るなど、各地域自治センターへの教育も含めて積極的に取り組まれ、有効性を上げるための努力がされている点は評価できます。

改善提案・意見等

内部監査において、指摘事項が無いという結果については、監査の実効性の観点から、問題視すべき事項であると考えます。監査員の力量、監査の視点、指摘基準等について再度検証されることが望まれます。(エコオフィスのための目標設定であるにも関わらず改善・指摘が無いことも含めて)

今回監査対象の部門の環境目標一覧表を拝見すると、依然とエコオフィス活動のみの部門が多々見受けられます。本来業務を通じての活動の意図するところが理解されていない可能性が考えられます。教育訓練や内部監査の場を通じてさらに浸透させることが望まれます。

今回、環境マネジメント組織において「副環境管理責任者」が設置されております。実務面で各地域においても環境管理責任者をサポートする立場を設けたことは、活動促進の上でも有効であると考えられます。組織上の変更有無は、マネジメントレビューにおける検討事項の一つであり、この決定はレビュー結果のアウトプットとなるものですが、マネジメントレビューの位置付けであることが認識されていませんでした。(記録は確認できました) 自己宣言と言えども ISO14001 要求事項がベースとなりますので、規格要求事項の理解は欠かせません。事務局担当者2名については、担当後間もないこともあり、要求事項の理解に関する教育研修の場に参加されていないようです。今後推進する立場として最低限必要ですのでこのような教育研修の場への参加を計画することが望まれます。

個別指摘事項等

No	評価	指摘事項	規格要求事項
○ -01	☒ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘	環境マネジメントの全市展開を図るなど、各地域自治センターへの教育も含めて積極的に取り組み、有効性を上げるための努力がされている点は評価できます。	
○ -02	☐ 推奨 ☒ 改善 ☐ 指摘	今回監査対象の部門の環境目標一覧表を拝見すると、依然とエコオフィス活動のみの部門が多々見受けられます。本来業務を通じての活動の意図するところが理解されていない可能性があります。教育訓練や内部監査の場を通じさらに浸透させることが望まれます。	
○ -03	☐ 推奨 ☒ 改善 ☐ 指摘	今回、環境マネジメント組織において「副環境管理責任者」が設置されております。実務面で各地域においても環境管理責任者をサポートする立場を設けたことは、活動促進の上でも有効であると考えられます。組織上の変更有無は、マネジメントレビューにおける検討事項の一つであり、この決定はレビュー結果のアウトプットとなるものですが、マネジメントレビューの位置付けであることが認識されていませんでした。(記録は確認できました) 自己宣言と言えども ISO14001 要求事項がベースとなりますので、規格要求事項の理解は欠かせません。事務局担当者 2 名については、担当後間もないこともあり、要求事項の理解に関する教育研修の場に参加されていないようです。今後推進する立場として最低限必要ですのでこのような教育研修の場への参加を計画することが望まれます。	
○ -04	☐ 推奨 ☒ 改善 ☐ 指摘	内部監査において、指摘事項が無いという結果については、監査の実効性の観点から、問題視すべき事項であると考えます。監査員の力量、監査の視点、指摘基準等について再度検証されることが望まれます。(エコオフィスのための目標設定であるにも関わらず指摘が無いことも含めて)	

様式2:部門監査報告書

被監査部門名	川西公民館
被監査者	綿内館長 山崎次長
監査日時	2010年 2月24日(水) 13:20～14:20
監査員	☐ 監査リーダー:宮原 英朋 ☐ 監査メンバー:香遠 英俊 山崎 敦之
前回監査・審査等での指摘事項への対処状況	

総括所見		地域性もあるかと思いますが、この地域に根差した活動を実践され、市内公民館の中でもたいへん元気があり、環境面でも啓発に工夫が見られ、公民館長自らこれを実践されていることが伺えました。 特にこどもの目線で処々講座等開設し活動している姿が伺え、行政機能を如何なく発揮されていることは推奨に値します。
1	特筆事項 (優良事項等)	総括所見参照。特にこどもの目線で処々講座等開設し活動している姿が伺えました。
2	職員の環境 配慮意識	(前年度比) ■ 向上 ☐ 維持 ☐ 低下 【事実の整理と所見】 職員5名ということもあるが、職員の環境配慮意識の向上が言葉の端はしから確認できました。
3	環境活動内容 の適切性	(前年度比) ■ 適切な取組内容 ☐ ほぼ適切な取組内容 ☐ 不適切な内容 【事実の整理と所見】 地域に密着した公民館としての環境活動が積極的に実施されていることを確認いたしました。
4	環境活動結果 の妥当性	(活動内容比) ☐ 計画どおり実施 ■ ほぼ計画どおり実施 ☐ 未実施が多い 【事実の整理と所見】 ほぼ計画どおりの実施であります。今後、進捗状況についてより細かく把握していくことも必要と考えます。(参加人数目標の把握等一部不十分でした)
5	環境活動全般 の有効性	(前年度比) ■ 有効性が高い ☐ ほぼ有効 ☐ 有効性は低い 【事実の整理と所見】 地域に溶け込んだ公民館活動を展開されており、有効性に問題ありません。

改善提案・意見等

公民館事業の柱である、地域共生、地域(社会)作り、交流を通じて、行政機関としての役割を発揮されており、今後もより一層地域密着型の公民館活動を継続して頂きたいと思います。他の公民館との情報交換の場もあるとお聞きしましたので、是非情報共有して頂き、全体の盛り上げに貢献頂きたいと思います。引続き、利便性の向上、啓発、情報発信の中身を工夫され、地域の皆様の環境意識向上に取り組まれますよう期待致します。

大変多くの講座等計画され実施されていますが、参加者の声・意見なども入手し、総括し、次年度に反映することで、より事業の有効性向上が期待されると思います。ご検討下さい。

個別指摘事項等

No	評価	指摘事項	規格要求事項
○ -01	☒ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘	地域に根差した公民館活動をしている。そして、その公民館活動に根差した項目が環境目的目標に設定し実践している姿が伺えた。 例えば、底力講座・里山講座・川西こども広場・通学合宿等。	
○ -02	☐ 推奨 ☒ 改善 ☐ 指摘	本業に結び付いた環境目的目標が実践されていることは確認できましたが、講座の参加人数目標に対する把握が行われていませんでした。目標を達成するために、進捗を把握することは重要です。PDCAを確実に回した取組の実践を御願い致します。	
○ -03	☐ 推奨 ☒ 改善 ☐ 指摘	現在実践している活動を総括し、次年度へフィードバックすることを望みます。折角地域に根差した公民館活動をしているのですから、次年度に是非活かし、事業の有効性の向上を図られることが望まれます。	
○ -04	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -05	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -06	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -07	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -08	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -09	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		

様式2:部門監査報告書

被監査部門名	市民会館
被監査者	掛川館長 三宅次長 水野主査
監査日時	2010年 2月 24日(水) 14:50～15:55
監査員	☐ 監査リーダー:宮原 英朋 ☐ 監査メンバー:香遠 英俊 山崎 敦之
前回監査・審査等での指摘事項への対処状況	

総括所見		市民会館は貸し館を専門としているが、築昭和33年と50年が経過し、老朽化が進んでおり処々苦慮している姿が伺えた。(JT跡地に新築の計画あり) 来館者駐車場が狭くたいへん苦慮している。大きな問題にならないように努めている。目標設定はエコオフィスのみ。館内に利用者向けの省エネ啓発用の掲示を行っている。
1	特筆事項 (優良事項等)	
2	職員の環境 配慮意識	(前年度比) ■ 向上 維持 □ 低下
		【事実の整理と所見】 職員5名。環境配慮意識は向上している。
3	環境活動内容 の適切性	(前年度比) □ 適切な取組内容 ■ ほぼ適切な取組内容 □ 不適切な内容
		【事実の整理と所見】 環境目的目標はエコオフィスのみ設定し活動していることを確認した。しかし、本業に結び付いた目的目標項目は設定されていなかった。 法関連施設の確認(地下タンク)、定期点検異常なし。表示が確認は出来るものの消えかかっており補修されることが望ましい。
4	環境活動結果 の妥当性	(活動内容比) □ 計画どおり実施 ■ ほぼ計画どおり実施 □ 未実施が多い
		【事実の整理と所見】 エコオフィス活動は、ほぼ計画どおり実施している。
5	環境活動全般 の有効性	(前年度比) □ 有効性が高い ■ ほぼ有効 □ 有効性は低い
		【事実の整理と所見】 有効性は高いとは言えないが、ほぼ有効である。

改善提案・意見等

エコオフィス活動のみの目標設定で、本来業務に関する目標が設定されていなかった。
館内利用に関して、利用者への省エネ啓発の掲示が行われているが、その効果の確認を行うことが望ましい。
火災時等の緊急対応・訓練(利用者等の非難・誘導等)を実施しているとのことであるが、実際の事故を想定した対応・訓練を行うことが望ましい。

個別指摘事項等

No	評価	指摘事項	規格要求事項
○ -01	☐ 推奨 ☒ 改善 ☐ 指摘	エコオフィス活動に関する環境目的目標を設定し活動しているものの本来業務に結び付けた環境目的目標が設定されていなかった。今後は、是非、本来業務に結び付けた環境目的目標を設定し、取り組まれることが望まれる。 例えば、市民サービス・利便性の向上等。 尚、利用者への省エネ啓発の掲示が行われていたが、その効果を確認し、活動に反映することが望まれる。	
○ -02	☐ 推奨 ☒ 改善 ☐ 指摘	緊急事態対応訓練及び避難訓練は実施していたことを確認した。 今後は、大ホールに観客がいることを想定した避難訓練等を実施することをお勧めいたします。 例えば、館内放送の利用・消防署職員の協力・利用者・来館者の協力を得て実施する等が考えられます。	
○ -03	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -04	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -05	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -06	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -07	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -08	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -09	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		

様式2:部門監査報告書

被監査部門名	生涯学習課
被監査者	原澤課長 深町係長
監査日時	2010年 2月25日(木) 9:50～10:50
監査員	□ 監査リーダー:宮原 英朋 □ 監査メンバー:香遠 英俊 山崎 敦之
前回監査・審査等での指摘事項への対処状況	

総括所見		生涯学習・青少年育成・人権同和教育の三本柱を基本に活動しており、幅広い業務を主管している。特に出前講座「出前ときめきのまち講座」を取り纏めている他、情報誌「YAっHO」により環境関連情報も積極的に発信されており、前向きな啓発活動が行われていた。但し、里山体験が計画されているとのことであったが、環境目標としては設定されていなかった。
1	特筆事項 (優良事項等)	生涯学習は、街作りと捉え全職員が積極的に活動している。自然活動体験や情報誌の発行による環境情報の啓発等、行政機能としての本来業務の面から適切な目標を設定し、取り組まれている。
2	職員の環境 配慮意識	(前年度比) □ 向上 ■ 維持 □ 低下
		【事実の整理と所見】 職員の環境配慮意識は、向上しているとまでには至っていない。
3	環境活動内容 の適切性	(前年度比) □ 適切な取組内容 ■ ほぼ適切な取組内容 □ 不適切な内容
		【事実の整理と所見】 本業に結び付いた環境目的目標が設定され実践されていた。(YAっHOの発行・自然活動体験教室事業の推進) 但し、里山体験も計画中とのことであったが、目標化されていなかった。
4	環境活動結果 の妥当性	(活動内容比) □ 計画どおり実施 ■ ほぼ計画どおり実施 □ 未実施が多い
		【事実の整理と所見】 ほぼ計画どおり実施されている。
5	環境活動全般 の有効性	(前年度比) □ 有効性が高い ■ ほぼ有効 □ 有効性は低い
		【事実の整理と所見】 ほぼ環境活動は有効と考える。

改善提案・意見等

生涯学習は、街作りと捉え活動している。
 公民館 9 館の総括部署との位置付けから、今後更に連携した活動も必要と考えます。
 ホタルと子どもたちとの関わり合いを模索しながら活動している姿が伺えた。
 地域協働—地域連携の重要性
 エコオフィスは、日常活動業務に溶け込んでいる。

個別指摘事項等

No	評価	指摘事項	規格要求事項
○ -01	☒ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘	上田市役所の広報・HP 等にて積極的に情報公開している他、情報誌「YA っ HO」により環境情報を積極的に発信・啓発していることが伺えた。まさしく生涯学習は、街作りの基本であり、今後さらに工夫を重ね情報発信、体験学習等継続されることを期待致します。	
○ -02	☐ 推奨 ☒ 改善 ☐ 指摘	エコオフィスのみでなく、本業に結び付けた環境目的目標を設定し活動していることを確認した。(YA っ HO の発行・自然活動体験教育事業・・・千曲川体験) 但し、里山体験教育も計画されているとのことであつたが、環境目標としては設定されていなかった。 折角、里山の環境体験教育も推進しているのであれば、今後は是非、環境目標として設定し、活動することを望みます。	
○ -03	☐ 推奨 ☒ 改善 ☐ 指摘	情報誌、YA っ HO の更なる充実を図るため、関係者からの意見収集を行い、反映することが望まれます。また、自然活動体験教室事業を通じて得た参加者からの情報は整理・分析し、今後の活動計画に反映することで、活動の有効性を上げる点に改善の余地があります。	
○ -04	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -05	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -06	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -07	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -08	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -09	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		

様式2:部門監査報告書

被監査部門名	子育て・子育て支援課
被監査者	田口課長 真壁主事
監査日時	2010年 2月 25日(木) 11:05~12:05
監査員	☐ 監査リーダー:宮原 英朋 ☐ 監査メンバー:香遠 英俊 山崎 敦之
前回監査・審査等での指摘事項への対処状況	

総括所見		子育て・子育て支援課を総括していることも未来部関係長とも面談でき環境活動に全職員が積極的である姿が伺えた。(こども未来部命名は市長) 約 220 もの事業を抱え、各課との調整業務を行っている。課題設定している目標は残念ながらエコオフィス活動のみであり、本来業務に直結した課題設定は行われていなかった。
1	特筆事項 (優良事項等)	「子育てするなら上田市で」のスローガンの基、課長自らが率先垂範して積極的に活動している。来訪者向けで、わずかではあるが環境関連の書籍も置いている。
2	職員の環境 配慮意識	(前年度比) ☒ 向上 ☐ 維持 ☐ 低下
		【事実の整理と所見】 職員の環境配慮意識向上の姿勢が伺えた。
3	環境活動内容 の適切性	(前年度比) ☐ 適切な取組内容 ☒ ほぼ適切な取組内容 ☐ 不適切な内容
		【事実の整理と所見】 環境目的目標は、設定され実践されていたことを確認した。 しかし、本業に結び付いた環境目標は無し。今後、是非、本業に結び付けて環境目標を設定し活動することを望む。 例えば、サービスの向上、利便性の向上、公園お散歩マップの活用等。
4	環境活動結果 の妥当性	(活動内容比) ☐ 計画どおり実施 ☒ ほぼ計画どおり実施 ☐ 未実施が多い
		【事実の整理と所見】 エコオフィス活動についてはほぼ計画どおり実施している。
5	環境活動全般 の有効性	(前年度比) ☐ 有効性が高い ☒ ほぼ有効 ☐ 有効性は低い
		【事実の整理と所見】 環境活動全般の有効性有り。

改善提案・意見等

エコオフィスは、日常業務に自然と溶け込んでいる。

課長自らが率先垂範している姿が伺えた。

次世代育成支援行動計画である上田未来っ子かがやきプランの具現化の推進

「子育てするなら上田市で」の活動が平成21年日経ランキングにおいて10位になったとのこと。

本来業務の上で、子供を持つ親と触れ合う機会(親子広場等)も持たれているとのこと、是非行政としての立場から影響を及ぼせること(啓発・情報発信)を目標設定し積極的に取り組まれることが望めます。

(平成22年6月予定で総合保健センター移転計画があり、子育て子育て支援課も移転予定。それに伴い今から、エントランスホールの活用、親子広場等を活用しての環境教育を検討している。処々アイデアを出し備えている姿が伺え、是非実現に結び付けて欲しい)

個別指摘事項等

No	評価	指摘事項	規格要求事項
○ -01	☒ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘	平成22年6月予定で旧一中跡地に総合保健センターが移転する。 子育て子育て支援課も移転する。それに伴い今から、エントランスホールの活用、親子広場等を活用しての環境教育を検討している。 処々アイデアを出し備えている姿が伺えた。	
○ -02	☐ 推奨 ☒ 改善 ☐ 指摘	環境目的目標としてエコオフィス項目が設定され実践されていることを確認いたしました。しかし、本業に結び付けた環境目標は無かった。移転に伴い、環境に関する啓発、情報発信等、検討されているようですので今後は、行政としての立場から影響を及ぼせることの切り口から本業に結び付けた環境目標を設定し活動することが望まれます。(親子広場、エントランスホール活用、お散歩マップ・お散歩する場所を案内するだけでなく、どんな場所なのか自然環境を知ってもらう切り口も付加すれば環境啓発につながります)	
○ -03	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -04	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -05	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -06	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -07	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -08	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		

様式2:部門監査報告書

被監査部門名	点字図書館
被監査者	高木課長 畑田次長
監査日時	2010年 2月25日(木) 13:20～14:20
監査員	☐ 監査リーダー:宮原 英朋 ☐ 監査メンバー:香遠 英俊 山崎 敦之
前回監査・審査等での指摘事項への対処状況	

総括所見		長野県内唯一の点字図書館であり、全国にも70～80館しかない全国でも4番目に古い図書館として特色がある。福祉サービスを目的に設置されたもので約300人の方が利用されている。(デージー図書利用者は約160人) 図書の作成・補修等は点字ボランティアに頼るところが多く、今後ボランティアの育成が課題となっている。活動目標の設定はエコオフィスのみとなっており、今後福祉サービスの向上の観点から目標設定されることが望まれる。
1	特筆事項 (優良事項等)	全国のどの点字図書館でも内部ネットで何時でも誰でも閲覧できるシステムとなっている。盲導犬による体験の場等が設けられ、福祉事業への関心を持ってもらう機会が持たれている。
2	職員の環境 配慮意識	(前年度比) ☒ 向上 ☐ 維持 ☐ 低下 【事実の整理と所見】 職員数も少人数であり、環境配慮意識は向上しているものの、本来業務の改善・向上もこの活動の一環である点を理解頂きたい。
3	環境活動内容 の適切性	(前年度比) ☐ 適切な取組内容 ☒ ほぼ適切な取組内容 ☐ 不適切な内容 【事実の整理と所見】 エコオフィス活動に関する環境目的目標が設定され実践されていたものの、本来業務に結び付いた環境目標の設定がなされていなかった。今後、更なる福祉サービス向上に向けて、利便性の向上・利用者ニーズの把握・点字ボランティアの育成等。本業に結び付けた環境目標の設定が望まれます。 法関連施設の届出、騒音・振動規制測定等適切に実施され、異常ありませんでした。
4	環境活動結果 の妥当性	(活動内容比) ☐ 計画どおり実施 ☒ ほぼ計画どおり実施 ☐ 未実施が多い 【事実の整理と所見】 エコオフィス活動の目標に関しては、ほぼ計画どおり実施されておりました。
5	環境活動全般 の有効性	(前年度比) ☐ 有効性が高い ☒ ほぼ有効 ☐ 有効性は低い 【事実の整理と所見】 ほぼ有効と考えます。

改善提案・意見等

福祉サービスを維持・向上させるためには、点字ボランティアが欠かせないが、点字ボランティアの育成確保が大変難しいとのコメントでした。(一人前の点字ボランティアを育成するのに10年必要)

また、盲導犬の貸与事業も行われているとのことでした。

今回、目標はエコオフィスに関するものしか設定されていませんでしたが、市では既に本来業務を通じ、行政機関の役割として影響を及ぼせることに取り組む方向にシフトしております。今後、是非行政サービスの向上についても目標に設定され取り組まれることが望まれます。

個別指摘事項等

No	評価	指摘事項	規格要求事項
○ -01	☐ 推奨 ☒ 改善 ☐ 指摘	エコオフィス活動に関する環境目的目標が設定され実践されていたものの、本来業務に結び付いた環境目標の設定がなされていなかった。今後、更なる福祉サービス向上に向けて、利便性の向上・利用者ニーズの把握・点字ボランティアの育成等。本業に結び付けた環境目標の設定が望まれます。	
○ -02	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -03	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -04	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -05	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -06	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -07	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -08	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -09	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -10	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		

様式2:部門監査報告書

被監査部門名	農業委員会事務局
被監査者	樋沢局長 石井係長
監査日時	2010年 2月25日(木) 14:50～15:50
監査員	□ 監査リーダー:宮原 英朋 □ 監査メンバー:香遠 英俊 山崎 敦之
前回監査・審査等での指摘事項への対処状況	

総括所見		農地農政農業者年金を統括、47名の農業委員を纏めている部署。農地転用の許可申請、農地売買、貸借関係事務、農業委員会だよりの発行。目標設定はコピー用紙削減と発行冊子の再生紙使用。農業委員会だよりでは「地産地消」が取り上げられていた。上田市環境基本計画では農環境を守り・親しむことも環境施策の一つとして掲げられているが、それらの本来業務に関する目標の設定は行われていなかった。
1	特筆事項 (優良事項等)	農業委員会だより「うえだ」の活用に使っている姿が伺えた。(環境問題とも直結する地産地消)が取り上げられていた)
2	職員の環境 配慮意識	(前年度比) □ 向上 □ 維持 □ 低下 【事実の整理と所見】 環境意識は向上している。
3	環境活動内容 の適切性	(前年度比) □ 適切な取組内容 ■ ほぼ適切な取組内容 □ 不適切な内容 【事実の整理と所見】 エコオフィスに関する環境目的目標が設定され実践していることを確認した。但し、本業に結び付いた環境目標の設定はなされていなかった。今後、本業に結び付けた環境目標の設定が望まれます。 例えば、遊休荒廃地有効利用・遊休荒廃地対策・農業委員との連携による地産地消の推進、農業従事者後継者の育成等。
4	環境活動結果 の妥当性	(活動内容比) □ 計画どおり実施 ■ ほぼ計画どおり実施 □ 未実施が多い 【事実の整理と所見】 エコオフィス活動はほぼ計画どおり実施している。
5	環境活動全般 の有効性	(前年度比) □ 有効性が高い ■ ほぼ有効 □ 有効性は低い 【事実の整理と所見】 ほぼ有効。

改善提案・意見等

総括でも述べたように、「農環境を守り、親しむ」ことは上田市環境基本計画の施策のひとつとされております。課題として、遊休荒廃地有効利用・遊休荒廃地対策・農業委員との連携による地産地消の推進、後継者育成、農地経営基盤強化推進事業、獣害対策、高付加価値農産物の産出等が挙げられており、今後これらを積極的に推進・解決するために、環境マネジメントシステムを活用され、目標設定し取り組まれることが望まれます。

個別指摘事項等

No	評価	指摘事項	規格要求事項
○ -01	☐ 推奨 ☒ 改善 ☐ 指摘	エコオフィス活動に関連した環境目的目標が設定され実践していることを確認した。但し、本業に結び付いた環境目標の設定はなされていなかった。農環境の確保・推進は環境施策の一つであり、今後、本業に結び付けた環境目標の設定が望まれます。 例えば、遊休荒廃地有効利用・遊休荒廃地対策・農業委員との連携による地産地消の推進、後継者育成、農地経営基盤強化推進事業、獣害対策、高付加価値農産物の産出等。	
○ -02	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -03	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -04	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -05	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -06	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -07	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -08	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -09	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		
○ -10	☐ 推奨 ☐ 改善 ☐ 指摘		

・監査計画

○ 上田地域

リーダー ○ 審査員 オブザーバー

1日目 2月24日(水) 市役所南庁舎5階第1,2,3会議室

NO		時間	対象	監査員
午前		10:00~12:00	事務局	宮原 英朋(東京特殊電線株) ○ 山崎 敦之(市民代表) ○ 香遠 英俊(小柳産業株) 小川原伊吹(信州大学繊維学部) 寺田 嘉彦(東御市役所市民課) 松島 裕司(伊那市役所) 田中 稔(伊那市役所) 田中 智(伊那市役所)
		13:20~14:20	川西公民館	宮原 英朋(東京特殊電線株) ○ 山崎 敦之(市民代表) ○ 香遠 英俊(小柳産業株) 小川原伊吹(信州大学繊維学部)
午後		14:40~15:40	市民会館	

2日目 2月25日(木) 市役所南庁舎5階第1,2,3会議室

NO		時間	対象	監査員
午前		9:45~10:45	生涯学習課	宮原 英朋(東京特殊電線株) ○ 山崎 敦之(市民代表) ○ 香遠 英俊(小柳産業株)
		10:55~11:55	子育て・子育て支援課	
午後		13:15~14:15	点字図書館	
		14:30~15:30	農業委員会事務局	

* 上記以外に、監査終了後、監査チーム会議、クロージング・ミーティングを実施しました。